いばらきの道 2025
【道路網図】

都市計画道路中大野中河内線・酒門工区

茨城県土木部道路維持課
道路保全強化推進室
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6
TEL.029-301-4445 FAX.029-301-4469
https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/doboku/doiji/

茨城県のプロフィール

位　置

茨城県は、日本列島のほぼ中央を占める関東地方の北東にあり、東は太平洋にのぞみ、北は福島県、西は栃木県に接し、南は利根川をもって千葉県、埼玉県に界しています。

首都東京の中心から県南の取手市は、40キロメートル、県都の水戸市は、100キロメートルの圏内にあります。

県内各地の観光地

袋田の滝

高さ120m、幅73mの日本三名瀑の一つ。四季折々の景色を楽しめる。

筑波山

標高877m、男体山と女体山の二つの峰を持ち、山頂からは関東平野を一望できるパノラマが広がる。

偕楽園

日本三大園に数えられ、約100品種3,000本の梅が楽しめる名所。

古河公方公園

日本で初めてユネスコの「メリナ・メルクーリ国際賞」を受賞した公園。四季折々に美しく花々が咲くが、特に春の桃は絶景。

牛久大仏

全高120m。地上85mの展望台へはエレベーターで登れる。

鹿島神宮

武の神様を祀る。緑まぶしい広大な神域はパワースポットとしても注目されている。

交通インフラ整備の歴史

○黒字：有料道路関連（※無料開放区間含）
○赤字：直轄国道関連
○青字：高速道路関連

S37.12(1962)	銚子大橋開通
S40.4(1965)	筑波スカイライン開通(H18.4無料開放)
S42.4(1967)	国道51号夏海バイパス開通
S44.10(1969)	鹿島港開港
S45.4(1970)	国道6号水戸バイパス開通
S46.9(1971)	茨城県道路公社設立
S47.7(1972)	国道50号笠間バイパス開通
	国道51号大洗バイパス開通
S49.4(1974)	水郷有料道路開通(H21.12無料開放)
S49.10(1974)	表筑波スカイライン開通(H16.10無料開放)
S51.4(1976)	月居トンネル有料道路開通(S62.2無料開放)
S52.11(1977)	国道51号牛堀バイパス開通
S54.2(1979)	常総大橋開通
S55.4(1980)	新大利根橋有料道路開通(H22.4無料開放)
S55.12(1980)	国道50号岩瀬バイパス開通
S56.4(1981)	常磐自動車道(柏IC～谷田部IC)開通
	石岡有料道路開通(H17.3無料開放)
	新4号国道「新利根川橋」開通(H11.3.4無料開放)
S57.3(1982)	常磐自動車道(谷田部IC～千代田石岡IC)開通
	国道6号土浦バイパス開通
S59.3(1984)	常磐自動車道(千代田石岡IC～那珂IC)開通
S60.1(1985)	常磐自動車道(三郷IC～柏IC)開通
S60.2(1985)	常磐自動車道(那珂IC～日立南太田IC)開通
S60.3(1985)	土浦高架街路開通
	新4号国道春日部古河バイパス開通
	大洗・苫小牧・室蘭間のカーフェリー就航
S60.7(1985)	常磐自動車道(日立南太田IC～日立北IC)開通
S61.3(1986)	国道50号水戸バイパス開通
S61.12(1986)	新4号国道小山石橋バイパス開通
S62.3(1987)	霞ケ浦大橋有料道路開通(H17.11無料開放)
S62.11(1987)	東関東自動車道水戸線(佐原香取IC～潮来IC)開通
S63.3(1988)	常磐自動車道 県内区間全線開通
H2.1(1990)	下総利根大橋有料道路開通(R2.1無料開放)
H2.4(1990)	国道51号東バイパス開通
H2.8(1990)	国道6号茨城町バイパス開通
H4.4(1992)	新4号国道古河小山バイパス開通
H5.10(1993)	常磐自動車道日立中央IC・日立有料道路開通
H6.4(1994)	鉾田環状道路開通
H7.2(1995)	北浦大橋開通
H8.12(1996)	国道6号東水戸道路(水戸南IC～水戸大当IC)開通
H9.8(1997)	水海道有料道路開通
H10.4(1998)	国道50号結城バイパス・下館バイパス一部開通
H10.12(1998)	常陸那珂港南線(ひたち海浜公園IC～常陸那珂東IC)開通
	常陸那珂港開港
H11.3(1999)	国道6号伊奈橋開通
H11.5(1999)	国道51号鹿嶋バイパス一部開通
H11.6(1999)	国道6号東水戸道路(水戸大当IC～ひたちなかIC)開通
	常陸那珂有料道路(ひたちなかIC～ひたち海浜公園IC)開通
H11.10(1999)	国道50号内原バイパス一部開通
H12.2(2000)	常磐自動車道(千代田石岡IC～友部JCT)6車線化
H12.3(2000)	北関東自動車道(友部JCT～水戸南IC)開通
	利根かもめ大橋有料道路開通
H12.5(2000)	国道6号宍塚橋開通
H12.6(2000)	常磐自動車道(友部JCT～水戸IC)6車線化
H12.12(2000)	北関東自動車道(友部IC～友部JCT)開通
H13.3(2001)	国道6号日立バイパス一部開通
	国道6号藤代バイパス開通
H13.12(2001)	新4号国道大和田跨道橋開通
H14.3(2002)	国道50号内原バイパス開通
	梅香トンネル開通
H15.3(2003)	圏央道(つくばJCT～つくば中央IC)開通
H17.3(2005)	国道6号藤代バイパス牛久沼大橋開通
H17.7(2005)	常磐自動車道友部SAスマートIC社会実験開始(H18.12本格運用)
H17.8(2005)	つくばエクスプレス開業
H18.4(2006)	若草大橋有料道路開通
H18.8(2006)	都市軸道路「守谷トンネル」4車線化開通
H18.9(2006)	常磐自動車道水戸北スマートIC社会実験開始(H21.4本格運用)
H19.3(2007)	圏央道(つくば中央IC～阿見東IC)開通
H19.11(2007)	北関東自動車道(笠間IC～友部IC)開通
H20.3(2008)	国道6号日立バイパス一部開通
H20.4(2008)	北関東自動車道(桜川筑西IC～笠間西IC)開通
H20.12(2008)	北関東自動車道 県内区間全線開通
	県北3港(日立・常陸那珂・大洗)統合・茨城港誕生
H21.2(2009)	国道294号「乙子立体交差点」開通
H21.3(2009)	常磐自動車道東海スマートIC開通
H22.3(2010)	東関東自動車道水戸線(茨城空港北IC～茨城町JCT)開通
	茨城空港開港
H22.4(2010)	圏央道(つくば中央IC～つくばJCT)開通
H22.12(2010)	銚子大橋一部開通
H23.3(2011)	国道50号下館バイパス一部開通
	常磐自動車道石岡小美玉スマートIC開通
H23.11(2011)	国道6号牛久土浦バイパス一部開通
H24.4(2012)	鹿行大橋開通
H24.5(2012)	涸大橋開通
H24.11(2012)	朝日トンネル開通
H26.4(2014)	圏央道(福敷IC～神崎IC)開通
H26.10(2014)	国道50号下館バイパス開通
H27.3(2015)	圏央道(久喜白岡JCT～境古河IC)開通
	新4号国道春日部古河バイパス全線4車線化
H28.12(2016)	新4号国道古河小山バイパス全線6車線化
H29.2(2017)	圏央道 県内区間全線開通
H29.3(2017)	国道6号土浦バイパス全線4車線化
H30.2(2018)	東関東自動車道水戸線(鉾田IC～茨城空港北IC)開通
R1.9(2019)	常磐自動車道水戸北スマートICフルインター化
R3.6(2021)	茨城空港アクセス道路全線開通
R5.3(2023)	圏央道(境古河IC～坂東IC)4車線化
R5.5(2023)	国道50号結城バイパス全線4車線化
R7.3(2025)	圏央道(幸手IC～五霞IC)4車線化
R7.3(2025)	圏央道つくば西スマートIC開通

※圏央道：首都圏中央連絡自動車道

茨城県の道路整備方針

「第2次茨城県総合計画」の基本理念である『活力があり、県民が日本一幸せな県』を実現するため、県民生活の充実や産業の発展に重要な道路整備を重点的に実施していきます。

【茨城県総合計画】　基本理念
「活力があり、県民が日本一幸せな県」

新しい豊かさ

ビジット茨城 ～新観光創生～

〈稼げる観光地域の創出〉
・魅力的な道の駅の整備、活用の推進

新しい安心安全

災害・危機に強い県づくり

〈災害・危機に備えた県土整備や危機管理体制の充実強化〉
・橋梁等の老朽化に対応するため、適正かつ効率的な維持管理を推進
・災害の被害を最小限に抑えるため、橋梁等の耐震化を推進
・災害時における緊急輸送道路のネットワークの計画的な整備の推進

安心して暮らせる社会

〈犯罪や交通事故の起きにくい社会づくり〉
・通学路における道路危険箇所の改善
・交通安全施設の整備、道路の計画的な舗装修繕、路肩及び法面等の除草を実施

新しい夢・希望

活力を生むインフラと住み続けたくなるまち

〈未来の交通ネットワークの整備〉
・東関東自動車道水戸線全線開通に向けた整備を促進
・首都圏中央連絡自動車道４車線化に向けた整備を促進
・新たなスマートインターチェンジの設置による高速道路のアクセス性向上
・インターチェンジへのアクセス道路の整備推進
・都市地域間のネットワーク強化、観光地等へのアクセス強化のための広域的な幹線道路整備の推進

〈人にやさしい、魅力あるまちづくり〉
・安全、安心な自転車走行環境の整備などを推進

茨城県広域道路交通計画

中長期的な視点で、地域の将来像を踏まえた広域的な道路交通の今後の方向性を定め、高規格道路や一般広域道路などの道路による広域道路交通ネットワークを検討し、今後の計画的な道路整備・管理や道路交通マネジメント等の基本となる「茨城県広域道路交通計画」を策定。（令和３年６月）

〈茨城県広域道路交通計画の構成〉
○ 広域道路ネットワーク計画　○ 交通・防災拠点計画　○ ICT 交通マネジメント計画

○高規格道路
・高規格幹線道路（高速自動車国道）を含め、これと一体、もしくは補完して機能する広域的な道路
・求められるサービス速度は概ね 60km/h 以上

○一般広域道路
・高規格道路を補完し、広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡
・求められるサービス速度は概ね 40km/h 以上

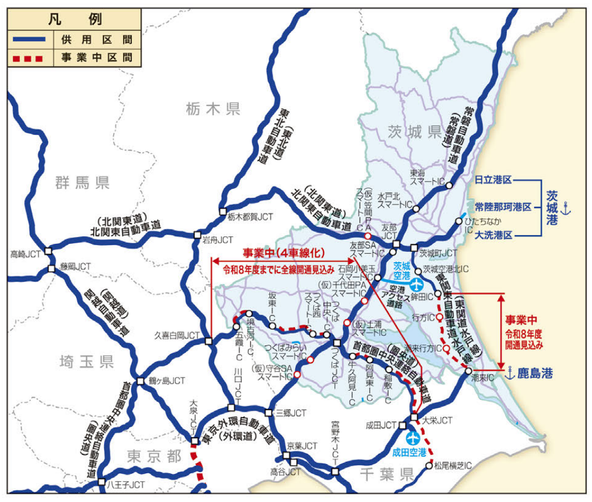
○その他の広域的道路
・上記以外の道路から成り、主要な都市拠点を接続

茨城県広域道路ネットワーク図

新しい夢・希望
高規格幹線道路ネットワーク

本県の発展基盤である高規格幹線道路ネットワークの整備を促進します。

また、高規格幹線道路をより利用しやすく、整備効果を最大限に発揮させるよう、アクセス道路などの整備を進めています。



＜地域産業の振興＞

北関東３県の周遊観光の増加

北関東道の全線開通により、北関東3県での多様な周遊観光が可能となり、開通後10年間で観光入込客数は約1.5倍に増加しました。

出典：北関東自動車道　全線開通１０周年整備効果

国営ひたち海浜公園

輸送利便性の向上

東関道水戸線(潮来～鉾田)の開通により、県の特産品で沿線地域において多く生産されているメロン等、農畜産物輸送の利便性向上が期待されています。

出典：東関道水戸線パンフレット

＜拠点へのアクセス向上＞

茨城港など拠点へのアクセス向上

北関東道の全線開通により、北関東3県と茨城港が直結。京浜港から茨城港への転換が図られました。また、東関道水戸線の整備により、鹿行地域から北関東地域や成田空港へのアクセス性が向上し、鹿島港のポテンシャル向上や農産品の輸送利便性向上が期待されます。

出典：
北関東自動車道
全線開通１０周年整備効果
東関道水戸線パンフレット

東関道水戸線（潮来～鉾田）

常磐道と茨城空港を直結

首都圏からの空港利用の促進や、周辺地域の交流・振興の活性化を図ることを目的に、ICから空港に直結する道路を整備しました。

茨城空港アクセス道路

＜企業立地の促進＞

県南・県西地域への工場等立地促進

圏央道の県内区間全線開通後、沿線市町村への工場等の立地が増加しています。

出典：NEXCO 東日本
圏央道茨城県区間全線開通後の整備効果

圏央道におけるIC周辺の開発（常総市）

スマートICの整備

スマートICの整備により、高速道路の利便性向上とともに、地域の活性化や企業立地の促進などが図られます。

県内には5カ所のスマートICが設置され、つくばみらいスマートIC、(仮)笠間PAスマートIC、(仮)千代田PAスマートIC、(仮)守谷SAスマートIC、(仮)土浦スマートICの整備が進められています。

常磐道 水戸北スマートIC

新しい豊かさ
道の駅

県内には、令和６年度末時点で 16の道の駅が登録されています。

県は、市町村と一体となり、道路管理者として休憩施設である駐車場やトイレ、情報提供施設などの整備・改修を行っています。

また、道の駅の整備・運営主体である市町村に対し、助言や情報提供等の支援を行っています。

▲駐車場など休憩施設の整備（かさま）

▲周辺民間施設と連携した新たなまちづくりの拠点（常総）

▲サイクルステーションとしての活用（奥久慈だいご）

▲隣接する河川への眺望を活かした親水空間の整備（常陸大宮）

▲地場産品の販売などによる地域活性化（しもつま）

▲充実した情報提供や洋式トイレなど利用者に配慮した施設（いたこ）

新しい夢・希望
自転車活用の推進に向けた環境整備

近年、健康意識の高まりやサイクルツーリズムを通じた地方創生の取り組みの活性化により、自転車活用の動きが高まっています。自転車が広く県民の暮らしに浸透していくよう、「いばらき自転車ネットワーク 自転車通行環境整備ガイドライン」を策定し、自転車空間の整備を推進しています。

いばらき自転車ネットワーク（広域のサイクリングを対象としたネットワーク）	延長(km)
・奥久慈里山ヒルクライムルート	200.9
・大洗・ひたち海浜シーサイドルート	95.2
・つくば霞ヶ浦りんりんルート	288.0
（うち、つくば霞ヶ浦りんりんロード区間）	(175.1)
計	584.1

(注1)ネットワークを構成する路線は、関係機関との調整等により変動する場合があります。また、今後の自転車利活用の進展に応じて、ネットワークの拡充を図ります。
(注2)鬼怒・小貝リバーサイドルート(仮)については、別途、鬼怒川・小貝川まちづくり推進協議会で計画中です。
(注3)つくば霞ヶ浦りんりんルートはつくば霞ヶ浦りんりんロードを含む。

いばらき自転車ネットワーク

ナショナルサイクルルートの整備

左記のいばらき自転車ネットワークのうち、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」は令和元年１１月、国よりナショナルサイクルルートに指定されました。

日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして、さらなる自転車通行環境の整備を推進していきます。

○走行環境の整備

ナショナルサイクルルートの指定要件として「迷わず安心、安全に走行できる環境が整備されている」ことが挙げられております。

つくば霞ヶ浦りんりんロードでは、利用される方のさらなる安心・安全のため、整備を推進していきます。

矢羽根の設置

案内看板の設置

○受入環境の整備

サイクリングの出発地点となる主要アクセスポイント（鉄道駅、道の駅等）やルート沿線の各地点において、サイクリストが快適で安心にサイクリングを楽しむことができるよう、休憩施設等の整備を推進していきます。

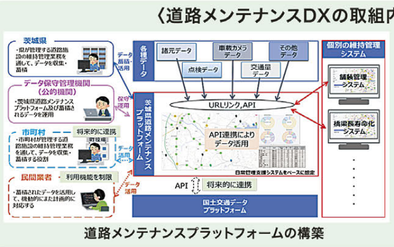
虫掛休憩所

筑波休憩所

新しい安心安全
茨城県道路メンテナンスDX

道路維持分野においてデータとデジタル技術を活用し、道路インフラの更なるサービス向上を図っていきます。

〈道路メンテナンスDXの取組内容〉



道路メンテナンスプラットフォームの構築

ドローンによる橋梁点検

3Dトンネル点検

防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策

近年の激甚化・頻発化する災害や施設の老朽化等に対応するべく、3か年緊急対策に引き続き、令和7年度までの５年間で対策のさらなる加速化・深化を図っていきます。

〈道路の老朽化対策〉

橋桁の腐食

アスファルト舗装のひび割れ

〈法面・盛土対策〉

法面対策（落石防止網工）

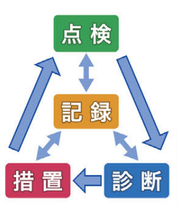
〈道路の耐災害性の強化〉

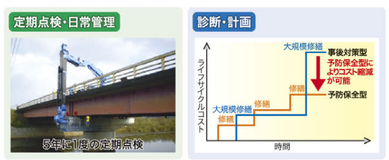
〈無電柱化の推進〉

道路施設の計画的な維持管理

メンテナンスサイクルを構築し、事後対策型から予防保全型への転換により、計画的な維持管理を進めていきます。

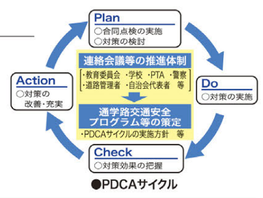
〈メンテナンスサイクルのイメージ〉





通学路の安全対策

通学路の交通安全確保のため、市町村が策定する「通学路交通安全プログラム」に基づき、学校や警察、道路管理者が連携し、重点的かつ継続的に実施しています。



【対策事例】歩道整備

道路の現況と予算
現　況

＜道路整備状況＞

（単位：km,%）　令和5年3月31日

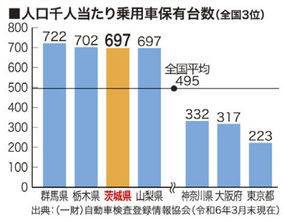
	一般国道（直轄）			一般国道（補助）			主要地方道			一般県道			市町村道			合　計		
	延　長	整備率	改良率	延　長	整備率	改良率	延　長	整備率	改良率	延　長	整備率	改良率	延　長	整備率	改良率	延　長	整備率	改良率
全国	24,225	69.7	100.0	31,933	72.8	88.3	57,904	67.1	80.3	72,027	55.7	64.2	1,035,760	60.3	60.3	1,221,850	60.9	63.0
茨城	408	33.8	100.0	772	71.0	96.7	1,651	65.0	80.7	1,724	59.1	67.2	50,840	41.1	41.1	55,395	42.7	44.3
順位	23	47	1	18	31	6	5	23	24	14	15	19	2	47	47	2	47	47

※道路延長は、自転車専用道を除く
※整備率＝整備済延長／実延長　整備済延長＝改良済（幅員5.5m以上）かつ混雑度が1.0未満（令和3年度全国道路・街路交通情勢調査）の延長　ただし、市町村道は、改良済延長＝整備済延長
※改良率＝改良済延長／実延長　改良済延長＝車線5.5m以上の延長（ただし市町村道は幅員5.5m未満を含む）

道路を取り巻く状況

＜自動車への高い依存度＞

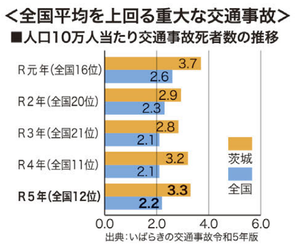
■人口千人当たり乗用車保有台数（全国3位）



出典：（一財）自動車検査登録情報協会（令和6年3月末現在）

＜全国平均を上回る重大な交通事故＞

■人口10万人当たり交通事故死者数の推移



出典：いばらきの交通事故令和5年版

長い橋「※高架橋を除く」ランキングTOP５

1位 北浦大橋(1,295m)
荒井行方線（鹿嶋市～行方市）

2位 幸久大橋(1,166m)
国道349号（那珂市～常陸太田市）

3位 霞ヶ浦大橋(1,015m)
国道354号（かすみがうら市～行方市）

4位 新大利根橋(711m)
守谷流山線（取手市～柏市）

5位 新三国橋(685m)
国道354 号（加須市～古河市）

長いトンネル ランキングTOP５

1位 朝日トンネル(1,784m)
石岡つくば線（土浦市）

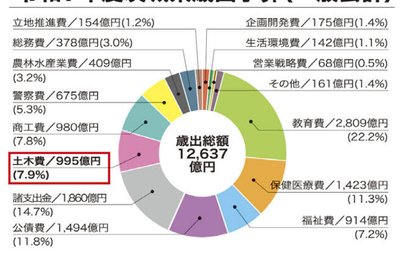
2位 北沢トンネル(1,581m)
国道461号（常陸太田市）

3位 本山トンネル(942m)
日立山方線（日立市）

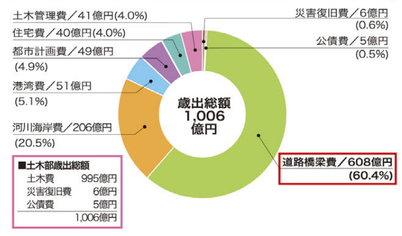
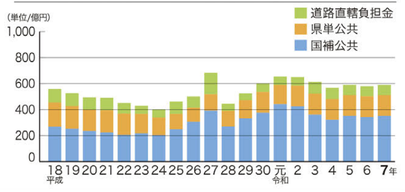
4位 花室トンネル(770m)
土浦境線（つくば市）

5位 守谷トンネル(741m)
野田牛久線（守谷市）

令和7年度茨城県歳出予算（一般会計）



令和7年度土木部歳出予算（一般会計）



道路橋梁費の当初予算推移（公共事業費のみ）